

看護学にとっての最新の重要な研究・理論を教育実践に反映するために、本学では2002年より、主として英文文献を批判的に吟味し、教員間のディスカッションを通して、教育内容に確実に反映させていくための活動「シンセサイザー」（統合するもの・ひと）を実施しています。

当初は、教員能力開発（FD）のために知識の普及・活用を促進するというコンセプトに基づいて「シンセサイザー」に取り組んできました。むしろ現在は、このシンセサイザーを実際に教育に活用した結果、どのような成果が得られているか、実践から見えてきた新たな課題は何かなど、いわばリフレクションが重要であると考えています。

そこで、「シンセサイザーの教育実践への活用」を「沖縄県立看護大学教育実践紀要」の付録として掲載することにより、本学の教育実践の一端をご紹介します、学生・教員・臨床従事者等、本学の教育に参画する皆様すべてがこの小さな試みを興味深いと関心を寄せて下さることを期待致しました。

読者の皆様から率直なご意見をいただければ幸いです。

2014年3月
FD 専門部会 部会長
金城 芳秀